



輸入食品の安全性

「輸入食品は、国産より危険」って本当？



1. 輸入食品監視統計より

※厚生労働省ホームページ:輸入食品監視業務

(1) 国内で流通している食品の基準は、輸入・国産関係なく日本の食品衛生法です。

(2) 輸入食品の安全対策は、
3段階で実施されています。

＜輸出国対策＞ 厚生労働省・輸入業者

- ・日本の規制などの情報提供
- ・現地調査
- ・技術協力



＜輸入時対策＞ 各地の検疫所

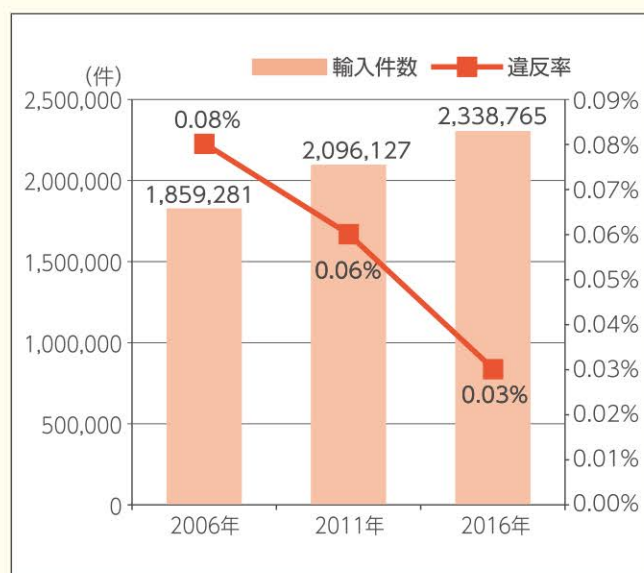
- ・輸入業者に必要な指導を実施
- ・すべての輸入届を審査
- ・違反可能性に応じた検査を実施



＜国内対策＞ 都道府県

- ・お店などで抜き取り検査や指導

(3) 食品等の輸入件数と食品衛生法違反率の推移



輸入件数(品目)は増えています。

(4) 2016年度の主な国の輸入件数・重量と違反率

	輸入件数	重量(トン)	違反率
中国	742,967	3,766,357	0.02%
アメリカ	228,793	10,929,544	0.04%
フランス	208,459	348,845	0.01%
イタリア	118,654	346,057	0.03%
タイ	161,735	1,737,135	0.03%
合計	2,338,765	32,302,113	0.03%

食品または添加物の基準・規格	61.4%
販売を禁止されている食品及び添加物	25.7%
器具または容器包装の基準及び規格	6.8%
その他	6.1%

違反内容は、日本と輸出国の基準・規格の違いによるものが大半です。

2. 2015年度に東京都が取り扱った食品等の違反事例をとりまとめたものです。

	国産品	輸入品	合計
検査品目数	45,026	20,292	65,318
違反品目数	21	8	29
違反率	0.05%	0.04%	0.04%

※東京都福祉保健局



「国産が輸入より安全という客観的なデータはありませんでした」